

令和5年度 校長より ①

令和5年度をスタートするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

校長として着任しましたこの2年間については、40年ほど築き上げられた本校の良き校風と伝統を次代に継承すること、また、県立高校改革基本計画後期計画を基にした新たな学校づくりを推進していくことの2つを学校経営目標に掲げ、校長として取り組んでまいりました。

前者につきましては、コロナにより物理的に教育活動そのものが奪われる状況となりましたが、それでも本校の「授業も 部活も イベントも」のスローガンにある3つの伝統を継承しようと、生徒、教職員とともに知恵を絞り日夜奮闘を重ねながら、可能な限りの教育活動を推進してまいりました。生徒、保護者の皆さんにとっては、おそらくどれも決してご満足はいただけない取組であったと思いますが、本校の良き校風と伝統を次代に継承することが可能な程度の成果は残すことができたと感じています。その証として、教育環境が整い始めた近頃は、学業や部活動、学校行事などでコロナ以前の取組を上回るほどの活動の成果も見られ始めている所です。

また、後者につきましては、改革の基本コンセプトである「スチューデント・ファースト」の基本的な考え方を学校全体に浸透させながら、魅力ある学校づくりの推進や、生徒の多様性の尊重、個性や能力を伸ばす質の高い教育の充実に努めてまいりました。その結果、月日が経つにつれ、受け身だったり自己主張を控える傾向にあった生徒たちの姿に、自分の疑問や考えを積極的に表明したり、これまでのしきたりや習わしに変化を求めたりする様子が見られるようになってきました。教職員においても、生きがいを持って生徒の教育活動に携わる様子が見られています。

こうしたことは、本校にとっては、生徒の行っている教育活動の意味や価値、本校に期待される存在意義、本校のこれからの方向性などについて、改めて教職員が考える貴重な機会となりました。そして、本校がこうした有意義な経験をすることができたのも、ひとえに本校に対して惜しみなくご支援ご協力をいただきました地域の皆様や保護者の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

私は、この度の辞令により、大船高校校長として引き続き皆様とのご縁を継続させていただけることとなりました。大変恵まれた有り難い身であると受け止めております。こうした状況に甘んじることなく、改めて気を引き締めて3年目の学校経営に臨み、生徒、保護者、地域の皆様に少しでも満足いただける教育活動を推進するよう、校長としてリーダーシップを発揮する所存です。引き続き、皆様にはご指導ご鞭撻をいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

令和5年4月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆